



浜松市人事委員会では「浜松市役所 就活topics」として、就職活動を行っている皆さんに浜松市役所のことを少しでも知っていただくため、定期的に情報発信を行っています！ぜひご覧いただき、就職活動の一助としてください。

新規採用職員へのインタビュー

令和2年4月に入庁した新規採用職員(幼稚園教諭・保育士)、宮口幼稚園の内山千咲さんに自身の就活のことを語ってもらいました。

Q. まず浜松市役所を志望したきっかけを教えてください。

私は幼稚園教諭・保育士として働く母の姿が身近にあったことと、小さなお子さんの成長を間近で見ることができる魅力から、小学生の頃から幼稚園や保育園で先生として働きたいと考えていました。浜松市で中学まで暮らし、高校では磐田市、大学では名古屋市の学校に進学したのですが、外部を知ることによって、今まで生活していた浜松の「都会と自然を兼ね備えていることの魅力」や「音楽や祭りといった伝統・文化の魅力」を再発見し、就職では浜松に戻ってきたいと考えるようになりました。民間の幼稚園や保育園もありますが、広い市域で様々な経験や出会いが期待できると考え、80施設を擁する浜松市の幼稚園教諭・保育士を志望しました。



▲内山千咲さん
(隣は内山さんと園児が一緒に制作した掲示物)

Q. 浜松市役所を目指すにあたり、やってよかったことなどがあれば教えてください。

まず一次試験では、教養試験と専門試験が課されます。専門試験は大学で学んだことが役立ちました。教養試験は馴染みのない問題も多く出題されるため、重点的に勉強しました。実習や卒業論文制作など忙しいタイミングでしたが、就職活動に伴うスケジュールを大学の先生にも理解してもらい、専念することができました。二次試験以降は、先生や友人に協力してもらい模擬面接を実施し、対策を立てました。特に重視した部分として、幼稚園や保育園では予測が難しい様々なケースに遭遇することを念頭に、「〇〇のケースに直面した場合、自分であればどのような対応を取るか」、シミュレーションを行うようにしました。想定していた質問と実際に面接で聞かれた質問とは異なりましたが、様々なパターンを考えていたため、本番で応用させることができました。現在職場でも、予測が難しい出来事に直面しますが、この練習が活きていると思います。

Q. 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、不安を感じている就活生に向けてメッセージをお願いします。

新型コロナウイルス感染症が拡大する状況下で勤務が始まり、通常対応と併せて危機管理にも気を遣う必要がありましたが、その経験が非常に役に立っています。皆さんも新型コロナウイルス感染症により遅れの出ている学校のカリキュラムと就職活動で大変な状況だとは思いますが、今経験していることは、必ず将来に活かせると思います。あと一息頑張ると、来春はぜひ浜松市役所でお会いしましょう。

WEBから質問などを受け付けています！

幼稚園教諭・保育士の採用試験の申込を7月17日(金)17時まで受け付けています。期間中はWEBから質問もできますので、試験に関することから、入庁後のことまで、お気軽にご質問ください。

※幼稚園教諭・保育士以外の採用試験の質問もお受けしますが、現在実施している採用試験の個別の問い合わせ(実施した試験の受験者数、個人の試験結果など)にはお答えできません。



▲浜松市職員採用ホームページの問い合わせフォームからご質問ください。後日、指定いただいたアドレスにメールにて回答させていただきます。(画像をクリックすると、浜松市職員採用ページにジャンプします。)